

ぼうさい 防災について考えよう

8月30日～9月5日は防災週間

大正12年9月1日に関東大震災が発生したことに由来する防災の日。防災の日を含む一週間は防災週間とされています。地震・津波・台風…災害は、いつどこで起こるか分かりません。いざというとき慌てないために、普段から心掛けておきたいことや、実際に災害が起きたときの対応などに役立つ本を紹介します。

いっばんしょ 一般書

地震・台風時に動けるガイド
大事な人を護る災害対策

メディカル・ケア・サービス
辻直美 監修

数多くの災害現場を見てきた防災のプロが、要介護者・高齢者・家族など大事な人を護る防災を、自宅と施設に分けて提案。介護に役立つ防災術が満載。コピーして使えるチェックシート付き。



今日から始める家庭の防災計画
災害で死なない環境を作るための
事前対策メソッド

徳間書店 高荷智也 著

災害で生きるか死ぬかは「発生前」の対策で決まる。備え・防災アドバイザーが、自分と家族が死なない環境を作るための「災害を避ける」「災害を耐える」「災害から逃げる」「災害をしのぐ」という四つの具体的な対策を伝える。



プロの防災ヒント180

警視庁災害対策課ツイッター

日経BP日本経済新聞出版 日本経済新聞出版 編集 警視庁 取材協力
水で作るカップ焼きそば、ペットボトルで簡単ランタン…。災害時やもしものときに役立つ知恵と便利技を180紹介する。日付記入欄あり。警視庁災害対策課のツイッターを基に書籍化。



じどうしょ 児童書

日本防災ずかん 1
自然災害・災害対策・減災・そなえ

あかね書房

おおつかのりこ 文 野上健治 監修

防災を自分のこととして受け止め、命と生活をどう守るかを一人一人が考えて行動するための本。日本で自然災害が多いわけ、環境の変化と災害の関係などを豊富な写真とイラストで分かりやすく伝える。ワークも掲載。



地震がおきたら

BL出版

谷敏行 原案 畑中弘子 文

かなざわまゆこ 絵

地震がおきたら、どうしよう。もし、ひとりでいるときだったら？子どもたちに自分で自分のからだを守ることの大切さを伝える絵本。家族を守る防災知識も掲載。緊急連絡先を書き込める「かぞくのやくそくカード」付き。



はなちゃんの

はやあるきはやあるき

岩崎書店

宇部京子 文 さく 菅野博子 文

はなちゃんの通う保育園では、月に一度、避難訓練があります。でもものんびりやはなちゃん、いつも遅れ気味。そんなある日、地震が！東日本大震災で「奇跡の脱出」としてニュースになった岩手県の保育所を基にしたお話。



第9回十和田市「図書館を使った調べる学習コンクール」作品募集

市民図書館 ☎0176-23-7808

夏休みの自由研究は「調べる学習」にチャレンジしてみよう。

対象 市内の小学生

募集作品 疑問や知りたいことを、学校図書館・公立図書館の資料などを使って調べた作品（1人1点）でテーマは自由です。作品のサイズはB4サイズまで、ページは1ページ以上50ページ以内です。

申し込み方法 図書館に備え付け、または図書館ホームページからダウンロードした応募用紙に必要事項を記入の上、郵送か持参により申し込みください。

申込期限 9月15日(日) 必着

後日、審査を行い、表彰するほか、上位作品を全国コンクール（図書館振興財団主催）に推薦します

入賞者には図書カード、参加者全員に参加賞を差し上げます